

花のある空間

大高 令子

春を祝うイースターの花飾り



今月の花材

ランタンキュラスラックス……中心が紫色で花弁がクリーム色の花
ヘデラベリー……黒い実 スイートピー……淡いピンク色の花
パンジー……紫色の花 ガマズミ……小さな蕾の付いた緑色の葉
その他……バスケット(かご)／ラフィア(椰子の葉から採れる天然繊維)／
フローラルフォーム(フラワーアレンジメント用の吸水スポンジ)／
Uピン(U字型の髪留めピン)／木製の卵

イースター(復活祭)はキリスト教の祝日で、フランスでは「バック(Pâques)」と呼ばれています。日にちは、「春分の日後、最初の満月の日の次の日曜日」とされ、ことしは4月20日の日曜日です。

今回は、イースターのシンボルである「卵」をモチーフに、鳥の巣に見立てた可愛らしいアレンジメントをつくってみましょう。

まず、バスケットにビニールを敷いて、吸水させたフローラルフォームをセットします。フローラルフォームは、バスケットの縁より3cmほど高くセットしてください。

そして、数本のラフィアを端から渦巻き状に巻いて、鳥の巣に見立てた飾りをつくり、フローラルフォームの上面に乗せます。渦巻きがほつれないように、Uピンでフローラルフォームに固定しましょう。

ラフィアとバスケットの間から、フローラルフォームに花を挿していきます。

まずは、ガマズミをクッションになるよう挿します。続いて、ランタンキュラスラックス、ヘデラベリー、パンジー、スイートピーの順にすきまを埋めるように挿していきます。

最後に、ラフィアでつくった巣に木製の卵を飾って完成です。

本物の卵の中身を抜いて絵の具などで色をつけた「イースターエッグ」を飾っても、可愛らしく仕上がります。▲

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。